

前回フォーラムでのご意見と機構の対応

CTBT 国際監視制度施設の運用及び関連する技術開発	
ご意見	機構の対応
CTBT の活動については日本国内でまだまだ見える形になっていない。若い人に新しい技術開発をアピールするという観点と、日本が原子力技術を維持していくことが重要であるという観点から、核不拡散の分野での日本の貢献をさらにアピールしていく必要がある。北朝鮮の問題は非常に関心が高いので、マスメディアなどを通じて、監視する技術があることをアピールすべきである。	ご指摘の通り CTBT 活動に関して一般にはまだあまり知られていない部分があるため、2012 年のむつ市での希ガス共同観測や水戸市で開催された希ガスに関する国際ワークショップ、2013 年の北朝鮮核実験に起因する高崎観測所での希ガス検出等では積極的にプレス発表を実施しているところである。また、ISCN ニュースレターやホームページを通して、CTBT 関連情報を今後も継続的に発信していくとともに、パンフレットを新たに作成し、CTBTOの活動や日本の貢献等について、積極的に情報の発信に努めていくこととする。